

平和のために 私たちができること



今こそ考えよう 平和の尊さ^{とうと}

あなたにとって「平和」とは何ですか？

「みんなが笑顔でいられること」「仲良く暮らせること」一。

他にもいろいろな答えがあると思います。今、私たちは平和に暮らしていますが、世界では各地で戦争や紛争^{ふんそう}、内戦などが起きています。

かつて、日本も戦争をしていました。枚方でも、戦争で使われる爆弾^{ばくだん}や砲弾^{ほうだん}を作っていた時代があり、1939（昭和 14）年 3 月 1 日に、軍需工場^{ぐんじゅう}の一つである禁野火薬庫^{きんや}が大爆発^{だいばくはつ}し、多くの死傷者^{ししょうしゃ}を出す大惨事^{だいさんじ}が起こっています。

このような悲惨^{ひさん}な出来事を経て、戦後、市民による平和運動が行われました。そして、枚方市は「軍需のまち」から「平和のまち」へと生まれ変わったのです。

この冊子^{さっし}を読み、私たちが住むまちの戦争の歴史と平和への取り組みを知ることで、平和の尊さ^{とうと}を学び、戦争のない平和な世界の実現のために自分ができることを考え、行動するきっかけとなることを願っています。

枚方市

目次

広島・長崎の悲劇 ^{ひげき}	3 ページ
軍需 ^{ぐんじゅう} のまちだった枚方市	4 ページ
禁野火薬庫 ^{きんや} 大爆発 ^{だいばくはつ}	6 ページ
伝えたい 平和の大切さ	8 ページ
平和のために私たちができること	10 ページ



被爆直後のきのこ雲全景（航空写真）
（広島平和記念資料館提供 / 米国国立公文書館所蔵）

核兵器は、ウランやプルトニウムの核分裂反応を使った、すさまじい破壊力を持つ爆弾です。爆発によって一度に大量の人間を殺すだけでなく、周囲に強い放射線を出します。その場は生き延びても、被ばくによって、がんや白血病などの病気になって死ぬ人がたくさん出ます。日本は、この人類が作った史上最悪の兵器が落とされた唯一の国です。アメリカは、1945（昭和20）年8月6日に広島へ、9日には長崎へ原子爆弾（原爆）を落としました。原爆が落とされた年に、広島では約14万人、長崎では約7万4千人が亡くなりました。その後も放射線の影響でたくさんの人が死亡し、被爆者は何年経っても不安を抱え続けています。

人類史上、初めて原子爆弾が投下 広島・長崎の悲劇



松山町の高台から浦上天主堂方面を望む
（長崎原爆資料館所蔵）



広島県産業奨励館（原爆ドーム）と爆心地付近
（広島平和記念資料館提供）



着物の模様を現している背中の熱傷
（広島平和記念資料館提供）

証言

破壊されたまちの中、
姉と共に必死で逃げました

当時、爆心地から1.8kmの広島の楠木町に住んでいました。朝食の時、突然「ピカッ」と光り、「ドンッ」という衝撃で気絶しました。気付くと目の前が真っ暗。崩れた家の下敷きになっていました。火の手が上がる前に逃げるため、母から「早く逃げなさい」と言われ、姉と手を繋いで必死に逃げました。

森 容香さん（当時5歳）



証言動画

枚方市原爆被害者の会の会長を務める森さん。「生き残った者が語らなければ、被爆の悲惨さは伝わらない」と小学校などで自らの体験と核兵器廃絶への思いを語り続けています。

市公式
YouTube



ぐんじゅ 軍需のまちだった枚方市

かつて枚方は、爆弾や砲弾を製造・保管する施設が3つもある「軍需のまち」でした。「軍需」とは、爆弾や砲弾など軍事上、必要とされる物資のことです。中宮・片鉾・甲斐田地区にあった枚方製造所は、忙しい時には約3万人が昼夜2交代制で働き、大阪市内や伏見（京都）・米子（鳥取）にも工場をもつ、日本最大の砲弾製造所でした。作られた爆弾や砲弾は主に鉄道で運ばれ、まちを破壊したり、人を殺したりすることに使われました。



枚方と戦争の年表

1894年 (明治27年)	1897年 (明治30年)	1898年 (明治31年)	1904年 (明治37年)	1909年 (明治42年)	1910年 (明治43年)	1937年 (昭和12年)	1938年 (昭和13年)	1939年 (昭和14年)
日清戦争が始まる	禁野火薬庫が開設	津田駅・長尾駅ができる	関西鉄道（JR学研都市線）が開通	日露戦争が始まる	禁野火薬庫が爆発	香里（現在の香里園）・枚方（枚方公園）・枚方東口（枚方市）・牧野・樟葉の各駅ができる	京阪電鉄が開通	香里製造所が開設
							国家総動員法が公布	枚方製造所が開設
							日中戦争が始まる	
								禁野火薬庫が大爆発

※枚方の出来事は青字で記載

きんや 禁野火薬庫



（市史資料室提供）

日清戦争後の軍備拡張の一環で、1897（明治30）年に禁野火薬庫が作られました。当時は淀川で船を使って物資を運ぶことが多かったことから、兵器工場のあった大阪と宇治の中間にあり、人があまり住んでいなかった禁野の場所が選ばれました。

枚方製造所



（市史資料室提供）

1937（昭和12）年に日中戦争が始まり、弾丸・信管を増産するため、禁野火薬庫の東隣に枚方製造所が作られました。1938（昭和13）年から生産を始め、主に大・中・小口径の各種砲弾、爆弾や信管を製造していました。

そかい 集団疎開



(市史資料室提供)

1944(昭和19)年、空襲から逃れるため、大阪市の大宮国民学校の児童635人※が引率教員や寮母とともに、津田・交野・星田の3町村に集団疎開してきました。子どもたちは親元を離れ、寂しい集団生活を送りました。※「学童集団疎開の生活―引率教員の日記―」より



調べてみよう！

どうして香里には軍需工場ができた
のだろう？ヒントは地形。
爆発の危険がある火薬
を扱うならどんな場所が
向いているのかな？

ひこぼしくん



1941年
(昭和16年)

太平洋戦争が始まる

1944年
(昭和19年)

大阪市の大宮国民学校の
児童が津田町に集団疎開

1945年
(昭和20年)

広島・長崎に原子爆弾が投下
太平洋戦争が終結

軍需のまちから平和のまちへ

1947年
(昭和22年)

日本国憲法が施行
枚方市が誕生

1954年
(昭和29年)

第五福竜丸がビキニ環礁で
被ばく

1956年
(昭和31年)

禁野火薬庫跡に中宮第二
団地が完成

1958年
(昭和33年)

香里製造所跡に香里団地が
完成

1982年
(昭和57年)

大阪府内で初めて非核平和
都市を宣言

1989年
(平成元年)

「枚方市平和の日」を制定

こうり 香里製造所



(市史資料室提供)

中国との戦争が激しくなった1939(昭和14)年にできました。主に湿った火薬を乾燥させて、砲弾や爆弾に詰めて完成品にする作業などを行っていました。

こうり 市民の平和運動が実った 香里団地



(市史資料室提供)

戦後、工場の一部は学校や病院として使われましたが、設備等は放置されていました。1950(昭和25)年、朝鮮戦争が始まると民間の火薬製造会社が香里製造所の払い下げを申請。禁野火薬庫大爆発の悲惨さを知っていた市民は大反対しました。1万人の署名を集めて国会や政府に陳情するなどした結果、火薬工場はつくらないことになり、香里製造所跡には、1958(昭和33)年、当時東洋一といわれた香里団地ができました。

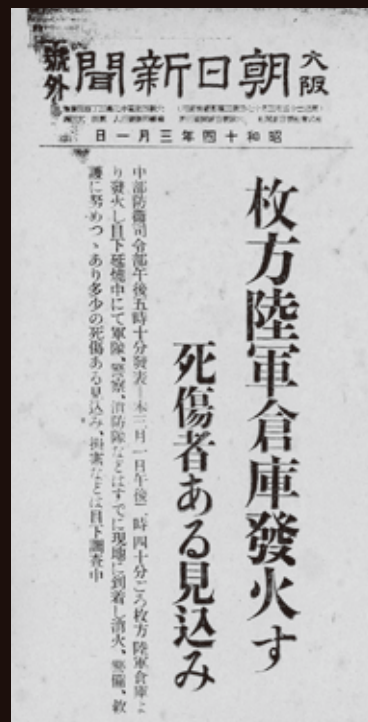
1939年3月1日 午後2時45分

禁野火薬庫 大爆発

死者 94人
負傷者 602人
家屋全半壊焼 821戸
被災世帯 4425世帯



京阪国道を逃げる住民（朝日新聞社）



朝日新聞号外 昭和14年3月1日

1939(昭和14)年3月1日午後2時45分、
禁野火薬庫第15号倉庫で爆発事故が発生しま
した。中国・上海から返送されてきた砲弾の
解体作業中に発火したのが原因でした。異常
に気付いた職員は、枚方製造所や枚方町消防
組に応援を求め、消火に努めましたが、火は
勢いを増し、3時29分に別の爆弾に引火。京
阪一带を揺るがす大音響とともに大爆発しま
した。黒煙はもうもうと上がり、燃えた砲弾
の破片は周囲に飛散。倉庫は次々に爆発し、
午後7時までに29回爆発しました。

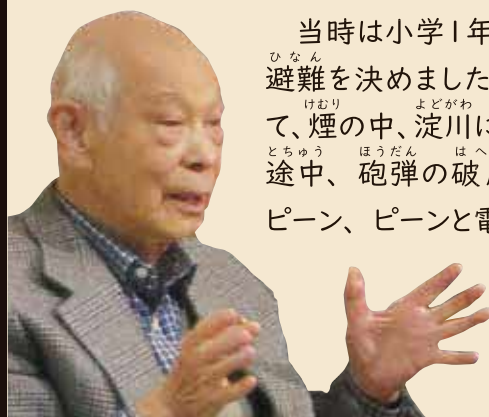


《市史資料室提供》

火災は3日正午になってようやく収まりましたが、
爆風と弾薬の破片は禁野火薬庫を中心に半径2
kmの地域にまで飛び散りました。禁野・中宮の民
家の大部分と天の川集落の半数が焼失しました。

証言 1

砲弾の破片が落ちてくる中、
布団をかぶって逃げました



当時は小学1年生。3回目の大きな爆発で
避難を決めました。母が布団をかぶせてくれ
て、煙の中、淀川に向かって必死で走りました。
途中、砲弾の破片があちこちに飛んできて、
ピーン、ピーンと電線が切れて怖かったです。

山本 勇治さん(当時7歳)

陸軍の報告書によると、爆発の被害は消防組の殉職者を含め死者94人、負傷者602人、家屋の全半壊焼821戸、被災世帯4425世帯に達しました。報告書以外にも爆発の死者を記す帳簿もあることから、実際の被害はこの数字を上回る規模だったと推測されています。枚方町や大阪府は救援に力を注ぎ、被災者等には陸軍の補償費・慰謝料が支給され、各地から義援金・見舞金が寄せられました。しかし、日中戦争下で爆発はなるべく目立たないように配慮され、爆発地の立ち入りや写真撮影も制限されました。爆発後、禁野火薬庫は3分の1の大きさに縮小されましたが、残り3分の2の土地は枚方製造所のものとなり、軍



（市史資料室提供）

爆風で倒れた火薬庫



（市史資料室提供）

爆発後の薬莖整理

過去にも爆発していた火薬庫

1939(昭和14)年に大爆発した禁野火薬庫ですが、1909(明治42)年にも爆発しています。8月の暑さでダイナマイトが発火し、爆発しました。死者は出ませんでした。枚方町をはじめ周辺の町村長が撤去を請願。しかし、火薬庫は拡張されました。



（市史資料室提供）

証言 2

砲弾の破片で家の柱が曲がりました

爆発が起きて、着の身着のまま尊延寺まで走って逃げました。道端には、衣類や持ち物が捨ててありましたね。爆発が収まって田口の家に帰ると、砲弾の破片が柱に当たって曲がっていて恐ろしかったです。

村田 文子さん（当時5歳）



需施設自体は拡大しました。戦後1956(昭和31)年、火薬庫跡には中宮第二団地が完成。爆発の起点となった場所には、工員38人の殉職者を慰霊する「殉職義烈之碑」が建てられています。



殉職義烈之碑



平和資料室（中央図書館1階）

禁野火薬庫爆発当時の様子が分かる写真パネルや軍服など、戦争に関する資料を展示しています。毎年夏には、特別展も開催。ぜひ行ってみましょう。入場無料。



聞いてみよう！戦争体験談

市公式YouTubeで戦争体験者の貴重な証言動画が観られるよ！



市公式
YouTube



ひこぼしくん

伝えたい 平和の大切さ

3月1日は「枚方市平和の日」

3月1日は枚方市にとって、平和の大切さを考える日です。1939(昭和14)年には、禁野火薬庫が大爆発し、1954(昭和29)年には、マグロ漁船の第五福竜丸がビキニ環礁でアメリカ軍が行った水爆実験に遭遇し、被ばくした日だからです。1989(平成元)年、市は2つの大惨事を風化させず、市民一人ひとりが平和の大切さを考える日にしようと、3月1日を「枚方市平和の日」に制定しました。

毎年2月～3月には「平和の燈火」や「ひらかた平和フォーラム」等を開催し、平和の大切さを伝え続けています。



平和の^{あかり}燈火

平和の祈りを込め、メッセージが描かれたキャンドルを灯します。毎年、大学生による実行委員会が企画・運営を行っています。

ひらかた平和フォーラム

小中学生による平和学習の発表と平和をテーマに様々なゲストを招いた講演を開催しています。



行ってみよう！戦争遺跡

市内には、戦争遺跡や平和のモニュメントがたくさんあります。市が発行する「枚方市平和ガイド」を見ながら実際に行的ってみよう！

市ホームページ



非戦の誓いの碑



戦時中、香里製造所で学徒動員されていた女学生の有志が平和を誓うため、2008(平成20)年に建立し、市に寄贈されました。

妙見山の煙突



香里製造所で砲弾の火薬を乾燥させるボイラーに付いていた高さ20mの煙突。「不戦と平和」のシンボルとして残され、普段は近くで見えることはできませんが、毎年、春と秋に見学会を開催しています。

核兵器のない世界の実現に向けて

2024(令和6)年、広島・長崎の被爆者の全国組織である日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。

長年にわたり、自らの体験を語り、核兵器廃絶を訴え続けてきた被爆者の思いを次の世代へつなぐことが今、求められています。



スピーチをする日本被団協の田中照巳さん(朝日新聞社)

大阪で初めて非核平和都市を宣言

核兵器の悲惨さと平和の尊さを伝え、訴え続けていくため、市は1982(昭和57)年、大阪府内で初めて「非核平和都市」を宣言しました。現在は、核実験を実施した国などに抗議文を送っています。

平和の像は1987(昭和62)年、平和を望む市民の寄付金等を基に、戦争による犠牲者の霊を慰めるとともに、核兵器の廃絶のシンボルとして王仁公園内に建設されました。



核兵器廃絶のシンボル
平和の像
「恒久平和」
作/池田 遊子

非核平和都市宣言

全世界の平和と安全は、全人類共通の念願であり、よりよい生活を築き、守り、維持していくための基本理念であります。

しかるに、それらの念願、理念に反して、究極戦争の道具である核兵器は、依然として拡充、拡散され、人類の生存に深刻な脅威を与えています。

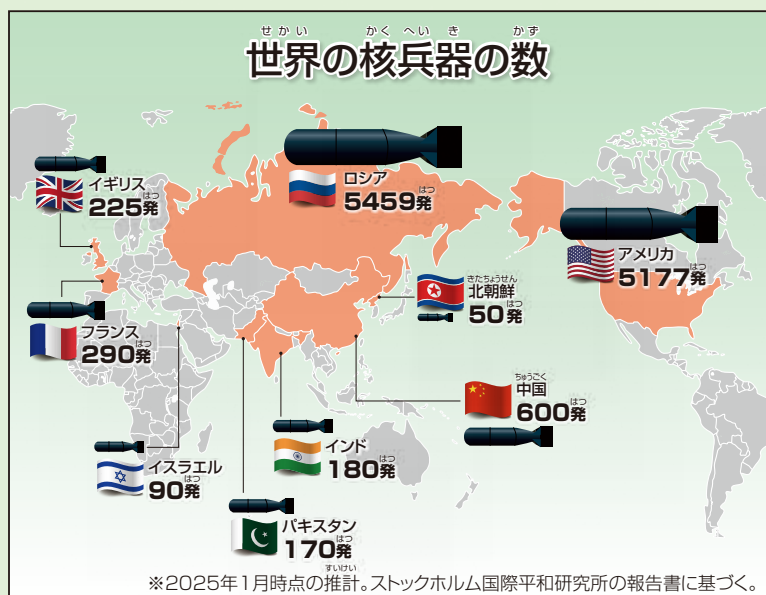
私たちは、原子爆弾投下による被爆の体験を通して、平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争の放棄を誓っています。

地球上から戦争と核兵器をなくすことは、日本国民の責務であります。平和を求め、核兵器廃絶を叫ぶ大衆の声は、ここ数年、時を追って大きくなってきています。

枚方市は、平和を愛する人達の住む町として核兵器の廃絶、製造設備及び手段の廃棄を訴えて、ここに非核平和都市となることを宣言します。

1982(昭和57)年12月21日

核兵器の恐怖



世界に目を向けると、9カ国が核兵器を持っています。スウェーデンのストックホルム国際平和研究所によると、現在、世界にある核兵器は1万2241発。1980年代半ばの7万発からはずいぶん減りましたが、それでも人類が滅びるには十分な数です。

なぜ、核兵器はなくなるのでしょうか。それは、「核兵器を持っていれば、他国は攻撃してこないだろう」などと考える国があるからです。

平和のために 私たちができること



なかみや
中宮平和ロード

平和な世界の^{じっげん}実現には、まずは歴史を知ることが大切です。戦争の記録は、私たちの近くにたくさんあります。戦争体験者の話を^き聴き、戦争^{いせき}遺跡を見てください。そして、平和のために何ができるのかを考え、この^{いっさつ}一冊とともに未来に残してください。あなたのメッセー^{いの}ジが、未来の平和につながることを祈っています。

氏名

.....



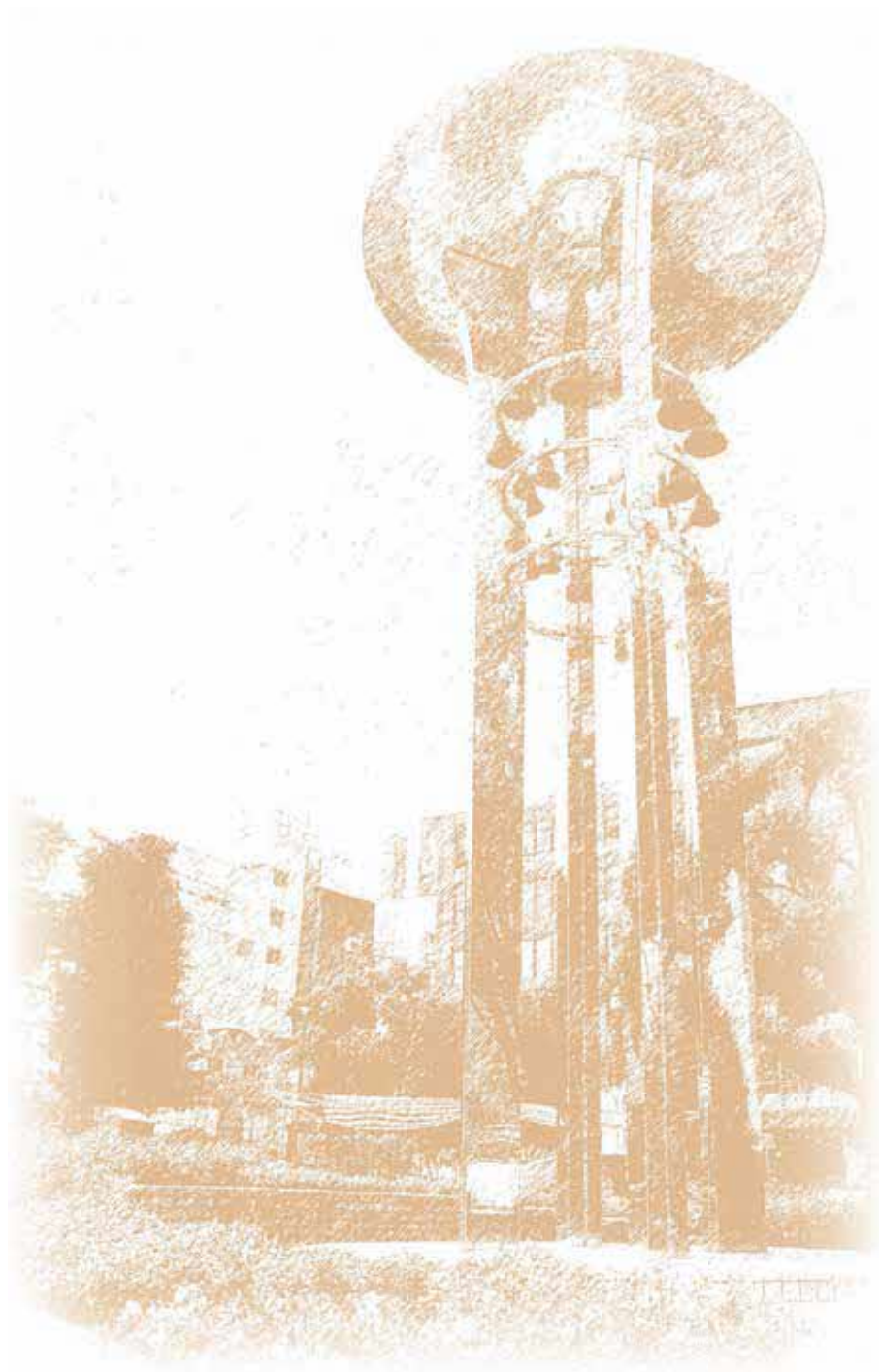
あなたが考える平和な世界とはどのようなものですか？



平和な世界の実現に必要なことは何ですか？



そのためにあなたができることは何ですか？



平和の鐘^{かね}カリヨン（ヒラリヨン）

平和のシンボルとして、枚方市ができて50年目の1997（平成9）年度にニッパーク岡東中央（岡東中央公園）に建てられました。カリヨンとは、^{おかひがしちゅうおう}調律された鐘を複数組み合わせ、^{おかひがしちゅうおう}メロディーを演奏する組み鐘^{かね}のこと。「ヒラリヨン」は市民から愛称^{あいしょう}を募集して決めたもので、「ヒラカタ」と「カリヨン」の合成語です。1日に10回、季節ごとの曲や市テーマソング「この街が好き」等が流れます。

表紙写真^{さつえい}撮影協力：明倫^{めいりん}小学校6年生